

Kim Hyemi

課題 REPORT

UPDATE : 2017.08.01

* 目的

テーマは化粧品のレビューSNSです。

写真の中、ほしい色相で化粧品を検索したり、化粧品のレビューをアップロードするSNS。欲しかった化粧品の色相を見つけなかった経験あります。検索テーマやキーワードを見つけなかったので、結局、探すことを諦めました。この経験からアイデアを受けてこのようなサービスを提案しました。

* 機能

レビューと日常生活をアップロード

写真を撮って色相を抽出

抽出した色相コードで化粧品を検索

自分の携帯のリストに貯蔵 (サーバなし)

* 日程表

	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
企画														
UI														
機能														
サーバ														
文書														

* 使用スキル

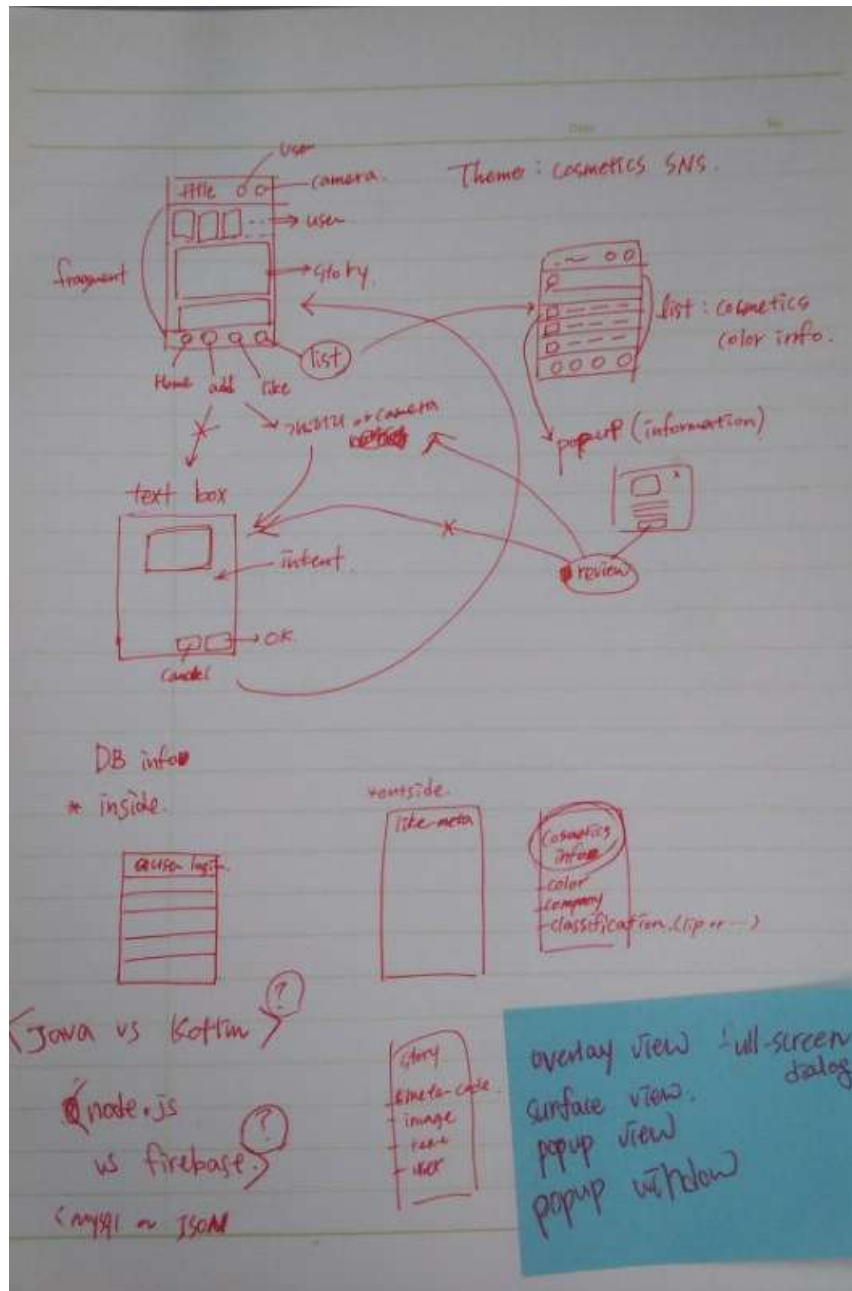
- Tool : Android studio 2.3.3
- Server : Google Firebase
- DB model : JSON
- Library :

	Scope
{include=[*.jar], dir=libs}	Compile
com.google.firebase:firebase-auth:10.0.1	Compile
com.android.support:appcompat-v7:25.0.0	Compile
com.android.support:design:25.0.0	Compile
com.android.support:cardview-v7:25.0.0	Compile
com.android.support:recyclerview-v7:25.0.0	Compile
com.android.support:palette-v7:25.0.0	Compile
com.google.firebase:firebase-core:10.0.1	Compile
com.google.firebase:firebase-database:10.0.1	Compile
com.google.firebase:firebase-auth:10.0.1	Compile
com.google.android.gms:play-services-auth:10.0.1	Compile
com.google.firebase:firebase-storage:10.0.1	Compile
com.squareup.picasso:picasso:2.4.0	Compile
junit:junit:4.12	Test compile

* 週間レポート

- 期間が短いで、三日に一度レポートしました。

期間	7/19 ~ 7/21	分類	企画
<p>内容</p> <p>課題の中で一つを選びました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分のアイデアと課題を合わせる結果物を作りたいと思いました。 - 最後の二つアイデアで一つを選びました。 			



期間	7/22 ~ 7/24	分類	企画
内容			
<ul style="list-style-type: none"> - UI デザイン - 言語選択 (Web vs Native app) : Native appを選びました。Webよりもっと慣れるし、本当にサービスしている、アプリケーションみたいなプラットフォームで作りたと思いました。 - 言語選択 (Kotlin vs JAVA) : JAVAを選びました。Kotlinは安いし開発の時間が早いですが、JAVAのパッケージのサイズが重くなることやbuild時間がまだ長いことでJAVAを選びました。JAVAは開発の時間が長いですが、言語が安定的にまた開発すること多いと思いました。それでJAVAを選びました。 - サーバー選択 (node.js vs firebase) : どこでも使う、24時間ついているサーバーが必要でしたからFirebaseを選びました。そしてIPの問題や海外でできるのか大事だと思いました。そして新しいサーバーも経験したいと思いました。 			

期間	7/25 ~ 7/27	分類	企画 / UI
内容			
<ul style="list-style-type: none"> - UIとプロトタイプのコーディング始める。 - Tab or Navigation bar - Action bar - Fragment - Camera (Surface vs intent) - Listview vs Cardview - Error problem about permission for CameraView 			

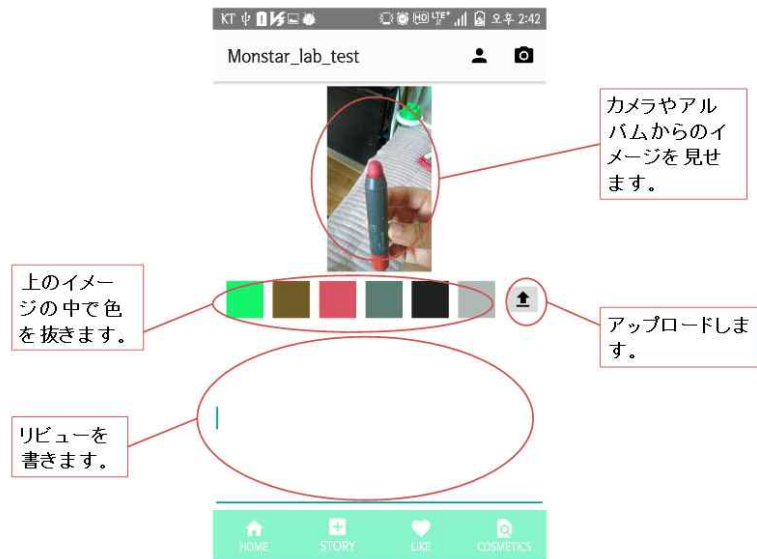
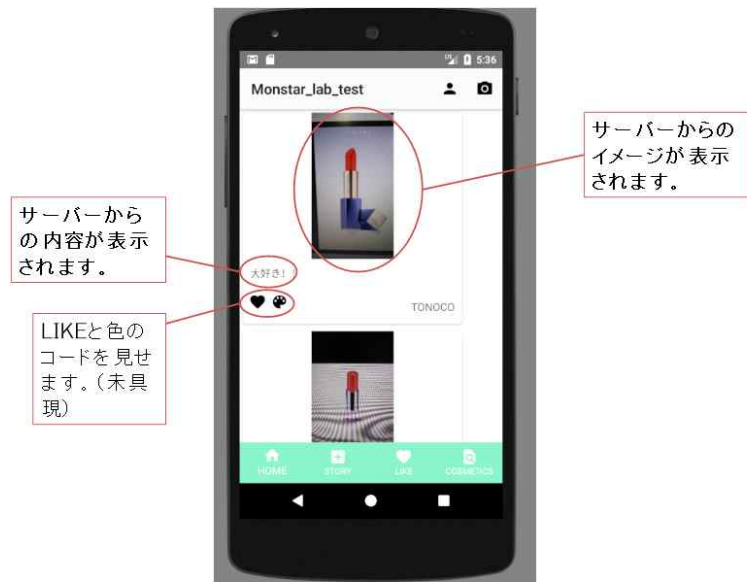
期間	7/28 ~ 7/30	分類	client /server
内容			
<ul style="list-style-type: none"> - カラーパレット機能の実装 - Firebase study - Setup firebase in android project 			

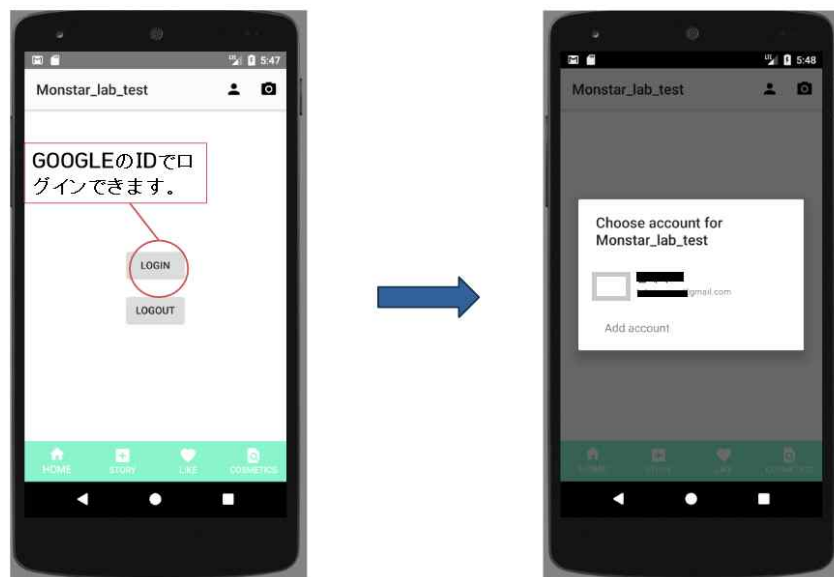
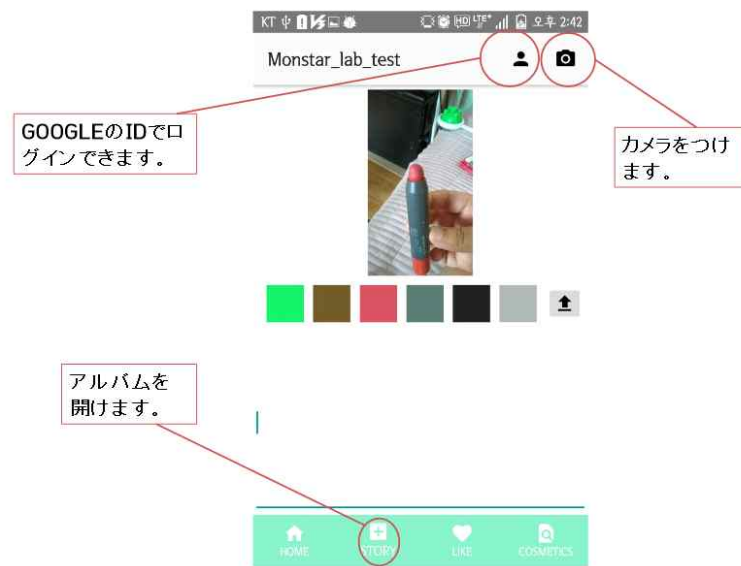
期間	7/31 ~ 8/1	分類	client /server
内容			
<ul style="list-style-type: none"> - Uploaded data to server (photo) - Google login - manual 			

* Unit test

項目	期待しているもの	実際の結果	備考
UI	Cardviewでちゃんと見せるか。	見せますけど綺麗なかった。 少し動作が遅い（何か他の方法はないのか）	-
UI	Authが動作してLoginfragmentに行くのか。	OK	7/31
UI	写真を撮ることができるか。	OK	7/25
UI	メニューをタッチすればギャラリーに行くのか。	OK	7/25
UI	Cardviewでlikeタッチした時、色が変わるのか。	OK	7/25
UI	StoryとCamera fragmentについて、色はちゃんと動作するのか	動作するけどキャッチする色が時々六つではなく、足りない。	-
UI	COSMETICSのリストはちゃんと見せているのか。	何のデータもない、ただリストの画面を作りました。アイコンの色を変わって表示する予定しました。	-
UI	会員情報は確認できるのか。		
UI	LOGINでGOOGLEページにちゃんと行くのか。	OK	7/31
client	写真について、INTENT後、正確な情報が伝えた。	OK	
client	内部のSQLは登録しているのか		
client	サーバーからのデータをちゃんと表示した。	表示はできます。	8/1
client	fragment	OK	7/27
server	image_upload	OK	7/31
server	image_download	アップロードした時、URLの形式の問題があって、URLを受けませんでした。そして、今はアップロードしたイメージを使っています。	url
server	story_upload	OK	7/31
server	story_download	OK	7/31
server	storage_setting	OK	7/31
server	realtime_database_setting	OK	7/31
server	authentication_setting	OK	google
DB	JSON Study	OK	7/28
DB	SQLite Study	OK	7/27
DB	DB design	考えたことはたくさんあったんですが、時間の問題で簡単な構造で作りました。	7/21
lib	picasso_lib_setting	downloaded image for url without Task	7/30

* 기능별 구현





* Database (firebase)

```
aaaa-a1eab
├── cos_info
│   ├── class_code: "0002123"
│   ├── color_code: "7C5204;7C5204;7C5204;7C5204;6"
│   ├── company_code: "イヴ・サン＝ローラン"
│   ├── goods_name: "ルージュ ヴォリュプテ シャイン"
│   └── image_url: "https://www.ysl.jp/static/product_images/"
├── sns_info
│   ├── 100000
│   │   ├── image_url: "https://firebasestorage.googleapis.com/v0/"
│   │   └── story: "大好き！！"
│   ├── 100001
│   │   ├── image_url: "https://firebasestorage.googleapis.com/v0/"
│   │   └── story: "赤！"
│   ├── 108851
│   │   ├── image_url: "https://firebasestorage.googleapis.com/v0/"
│   │   └── story: ""
│   ├── 116900
│   │   ├── image_url: "https://firebasestorage.googleapis.com/v0/"
│   │   └── story: "しろ"
│   ├── 126159
│   │   ├── image_url: "https://firebasestorage.googleapis.com/v0/"
│   │   └── story: "しろ"
│   └── 146913
│       ├── image_url: "https://firebasestorage.googleapis.com/v0/"
│       └── story: ""
```

* 反省点

- 時間が短ったのに、長いプロジェクトみたいに企画の時間が掛かった所。
- firebaseの文書と資料がほとんどなかったなので、勉強やエラーを探して直すことが難しかった。
- 以外にサーバーの問題が大きいだった。
- 時間計算に失敗したので、コードの形がよくなかった。
- firebaseで思ったより複雑なDBはできませんでした。